からかのでしていましまであ 記録のでは

100

戦へたが、わが方の指揮は発送い 一月十九日信仰次戦の一の類ひを演 機を呼吸聴、既に拡大なる打除を一みた在安米が町のゲリラ熊和は四一

重要部に元大打撃を見るり、撃破一機はいつれる て基地への歸漢因にで途中の隆

すをが、それらの担害はいふに足事無工場、病院に若干の彼前を受

らは十六日朝までには述く領火、 盟官民一致の消火活動によりこれ 即事施設には殆ど損害なく被傷に

> 吹めようとは考へられない、第二 の極限に遭ってもなほその許允を 医、これこそわが原梢の制空間震

> > た破機は盲燥の限りを歴して選定

「帰崎包括」北九州均度と深続し

次、第三次の厳空間を認へて呼帰

性は無別帰地區と法下した機能に したが、その一つ数米空間の狂暴

いへがむしやらにわが本土をいる

を経点し外つたが軍国民不軍は十六日早晩わが北

飛行機來属下被害者の救恤作業に

線点や部が割を微動指揮に借り破り 福門版製祭派長は門司選終署工

これを邀へて徴戦活闘中でありしては目下わが所在機能部隊が またマリアナ諸島出腹部隊に劉

數是鍊成

六月號

**福兰** 

社究研方へ考

ランク共著型調物担学人門・

學者と技術者の提携方知……

橋ツー田剛東東

【顧問問話】今年こそ決賊の年と

Š

上に落下せる るものくみで

海上遙かに邀撃

地道

れに砂雹を飢へることなくすっ

では河部本部長が早明から縄次者

を見舞び意思り来その他の食糧を

を持つて狭隘し次つたことは穏を持つて狭隘し次つたことは穏

昭の何々相(國防敗島)

関する以上それが限令政治的企

その敗肢を関係されて選定した

機能、住家を失る

子師を盛くて教 た経災者に假設 段格の研究師に同場を行ったまま一瞥り民心は鎮線し、また明衛本部

思に出た、教物に支那大陸の前機・北九州地區に指するゲリランとの

を展開戦の戸間に陰下つて原盤を 出してこれを感躍、暗間の奈中戦

山原水

陜

四 廣

副郷の腕を見せるはこの時と瞬一様に既全を期してある

逐心總退却 パレル前面の戰果

擴大

上つた臨済ニミツツがこの強引戦

者の機能が到る所に微跳する疑理を散へてし、自ら吸減を決めた敗

を無視し崩壊に減じて無縁な調整

定文されたし。六月號費切れの断に七月號より主文無難に買切削につき主意最份審定に本版旨を信提不

かし世界の戦鬼とは進撃の限度

| 研究による放品・物級練成: に関する物象と競響・

潘○一六个三京東督振

の日早朝江湖警報総令される

【東京電話】数は土八日早にわず

つたわが航空部隊は海上遊か

りついで北九村に原歴した、版像、段の火観を急って戦物のわが前異基地を推薦し針路を朝鮮問部には、加へ、またわが地上部空間等は必

かくる間でかれて増してあ

早くも微細膜を損災・一颗に郷上、身、かくて野官民一際の火と燃え

待つあるを恃

服験により数へらるゝ點も膨く

てある。
である
である

ルへ、またシタチ

ル東方サキロ)附近の第廿三版幽

自然コパレル前面の敵は十日

な開始したものと如くマピクノー に至り迷に全面的にパレルに逃却

**耐に一敗地に盛れて耿黙し去るこ** 

とは必至と傾信されるとはいへ

號月六

(パレル東方十キロ)の酸はパレ

防衞態勢を

微定、さぎにクデ

ール道上へ網々 ンデヤオへベレ

殿は今後とも凡ゆる機盟を狙ひ、 に立脚するものであればある程、 職の戦略討闘が以上の如き謀略性

技術人。經濟人…為

方法を続して執拗な出場、或びは

段ご强化

森醬備課長談

民防空に萬全を期

F

足らざるものであり朝鮮

が、この日間報が鳴り耐くと共

をも觸れ得ず悲傲したのである

撤機の本土大き光文場一一丸となって消火、防障活動に挺

地域への感应を防遏、更に損官民

たのみで丁揚施設には合然被控なく勿脳生耐、控禁には匹がの支配もない

「類問覚記」今期の劉朝に続し、任徒と護所は若干の被称を受けたが勝貫中戦陽差二名「自し

幡製鐵所操業支障なし

落概ね確質と見られるもの

数空襲を見事に記述したのである

節大なるかない異、 郷やなる形

邊陬の民家を

點に機器を落じ、しかも喧嚣戦で

に来職したが、わが地上南火の浩 に来職したが、わが地上南火の浩

短微なもので あつたに 比し敵 であるが、しずらわが被害は人

高數研究

六月號

**送料** 一

地區市積地の僅か一町そこそ此地

機総件に附近医聚は機器してある

題と果敢なるわが都空戦闘機の滅極と果敢なるわが都空戦闘機の滅

過二、他形態的

入った

として強定し、却つてわが縁権破十機といふ打陸を受け、倉昌

折柄北九州巡戯中であつた柘植

敵襲下の措

即上部隊に服死三名、負以三名を

とるほか肌や部域および地上

である。しかしてわが方の担似は

現在迄判明せる主要事項次の如し で、我方地上部隊に数名の戦死傷者ありたる他制卒部隊及 地上軍事施設し始ん ★公司接続(日和十九年六月十六日十四時)本十六日早朝北九州地方に於ける戦况中 敵に與へたる損害 擊墜上機、擊破一機 事施設に損害な

被爆により数ケ所に生じたる火災は十六日朝五時迄に悉く鏡水せり 帝都來襲二 の舞い

地る顧客欄の被警状況を奏上、翻 14寸取機よりなる測編線は開助北 交米空間が明る影響と与は、B 駅を鳴って寝ちだこれを歌響、☆ 園は地域なく場ぜられ、わか城町の米空間を見まれる。 B 野を鳴って寝ちだこれを歌響、☆ 園は地域なく場ぜられ、わか城町 明一階の類似な短期を交へ大本僧 は極めて駆動である

れ、十六日早朝北九州方面に來馬 顧伽不問と 磐密して宮中を 選下

安藤內相琴上「東京館」

「総人に光立分でれず取りたわな命」する大道論を購入て物談したが、、 動機が見近支地大陸に同日寄日空が小地に近畿した。 影像のおびませ 一般表にある様くその十巻を開修命 一緒が思答の歴報と呼称するより

マリアナ、小笠原に敵機動部隊

ゐる骸職の如く見ることは決して 職を機に緻悶域の決獄をさらに新

職の派遣下にサイバン品に上陸 注蓋、闘逐語名數等による任節

でされかと同時に、<br />
敵の不敢の反 内南洋の一角において行はれて

总

を子と素質的機能関係とおい を用したいっている (東京東西) 主、日朝の北九州地 明へたが、わが方の指属は発 の宣原的対果を狙って新代 B9を いったが、わが方の指揮は殆どい する機能とる失敗の配録に終った まなら敵機撃墜七機

骸殘の機敵たれさ墜撃て空上州九北

大日早朝、微機は初めて

現はれであり、今後と離も反復までもなく銃後機能の神経酸の

ってわれくとしてもいろしたという。ところである、今度の空間にいた。

ハレルおよびバレル和面の主陣地一部兵力を他に戦用するとともに

【東京電話】空殿など非常の際と

問意最近株價の動き

發動の要なし

イボム附近の輸形堡域に抛って

くさ、百とはワンギャンカン、バ 界で防禦を討めんとするもの人如

いた頃に自動車、自動策車三百

領市金の便宜代那などの措識を眺 腰省において非常金融到地を軽闸 處する金融對策としてかねで大

い設により、援助監を提定して

端郷カノイル油田……小北 ・ 一本油田……小北 ・ 一本油田……小北

言提資經

K.

、氏

北九州に対する欧勝米圏に関し日

進李。數學問題概告

七穗 郎積

軸を往來し選却施設と兵力顧用に

をこの際特に切言するもの

スレてかねてよりは加してあえど とろであるが、今度の来源につ いては軍官民の防衛機関は軍が て軽面であつて被害もないとこ

中間に進出した

非常金融措置

つ
士
一百マビクノーを占領、また たわが部隊は所在の敵を臨破しつ

空間を反復し外ることは明殿であ

戦局は将に苗烈軍大なる政権

◆戰局→政治·經濟◆世界政治經濟展望 生産復舊と戰爭保險…山口喜三郎 戰時損害保險法の問題…村 岡 信 勝 戰 爭 と 保 險…鈴木 神校

朝鮮の空に位入した。全性機器 った、このため域は朝鮮に一指の防空間は、摩に膨脱的熱で入 

ロタのマリアナ階島に戦権砲艦隊 監証飛行機の指載は全く伏せてゐ れば奈母語印機、戦艦、巡洋艦、 士近く突入して來たのであるが、 は今や正に太平洋正面よりわが本 東京―北海道 小幅間に出る、概 成質局は東京を印たる六百七十神 の距離はほぼ東京一庭児島間、 また父母は五百五十曲であり、こ

上陸目下磁戦展開中で米國側の指 単を下すべく職職を提示に済空域。 助を選するであらっことは次に敬 がある。 がと対するであらっことは次に敬 われくは黴のサイベン的上層企 婚優なる歌が欧洲第二記談に呼吸一大東龍戦域に對し必ず何等かの窓 諸島空襲のこの孫寅を設に面視し 顕、敵機北九州來機および小笠原

のである 「開西太平洋諸地十六日町間」わ アララー兩島を爆襲 十九機來襲

(版 內

に醸退せり、

大木管の表(昭和九年六月十六日五時)「マリアナ」諸島に來襲せる敵は

敞三度び上陸を企圖

ン 発電・米國太平洋艦隊司令部は

めて熾烈な事故を認めるとくもに ロイター電報は日本国の振売が個

を加へたのち米國籍はサイベ

殊頭に米國軍部隊の指語は含して一環は超大の魔機だ

リスポン十五日同盟」ワシント

敵損害甚大

際学の販売に関しては一切洗紙を

一五日夜公報をもつて

ンで激戦中

九日朝に至り『サイバン』に上陸を企圖せしも前後一同之を水際

もマリアナ諸島の海中総く出現し 朝な基地描を飛び越え大時不動に

硫黃島空襲

敵は同日正午頃一度來襲し今尚激戦中なり

回、水際に撃退す

局は今や例めて国語な段階である

概なく現すものであり、同時に配 て來をことは微企圖の強烈さか

(可運物便郵應三第日十月八年允冊治療))

殿を反復、わが所在形域の散脳に

を水際に設定した、敵はさらに応 の末、前後一回にわたって歓迎味 はいつれる敵必殺の闘魂を飾らせ 敗りつくに至った、わが所在部隊 つく配所にこれを数率、脱載技能

ヤル語は内のわが絶古地やはじめ リン環間方面の敞塞地からマーシ

トラック、カロリンなどのわが強

と航空機の特性にかんがみ、これ

説

ざらわが本土四人を企らみ、著と つて明かにせられてゐる難りであ

り同門明煕にも同等の指書がなか、皆石破滅は、いよいよ為々其種関 と河南がなく水を朝鮮軍研奏の通き近し得を踏でありもが制空機の

調空部隊及び地上電車施設とは沿機を喀嚓して、來機器の半敷を叩 際は小笠原諸南に來越し、敵機数一で一回にわたり女島および延苗島

るに、支那にある基明を設置して

朝鮮を網由してあることである。

以上をそれく「戦略したのである」 によって十三機、空間により凹機

部隊は断然これを破除し地上次器 を初空襲し來つたが、所在のわが

【東京電話】十五日午後概機動部 | 十機は午後 | 時より三時半過ぎま

労、**監**語駅 兄・島父

四分の一を叩き込したのである。

者があつだほか、一般による小火

るが、なが制や部域はよくこれを

が方には地上部隊に教名の戦死傷、腰を入れた空襲と居はれるのであ

なきに辛ってあるが、これかりて

たほ母如うり引るが如きは、殿に

護に加へて最近における大原亞院

するものなり、ドイツ國軍はアーなものなり、ドイツ國軍はアーない。

ヒトラー總統返電

である。かくる敵戦略の基本的要

て敵はなすところなく試験の日む

來てなりながら、なほ訓練という

は裂するに離からず、それによっ

も関連するといる戦災をあり、わ 部級等わが制空配験は厚にこれを

の頃にしもされ、兎に第一個の本

式P19の 如きいはゆる室の 要等 の結果とさへなったのである。 と空しかったのみならず、逆にそ ったのであるから、他の歌聞は殆

短表中にもある如く、 敷機中に

てのた折板であるだけに、類似明 あり、いつれば空域公司と自られ 日の東京司法以外一度目のことで を設理したといっことが出來る。

たか古かの懸念が、野無であった

高牙口

ZŞ

島諸ルヤ

・島ルウナ

可認用学ンモロン

襲を退く 敵不逞の來 袓

て、その基地を淡水強化しつくめ、本意より發表したるが如く、北九 つたことは、「既にわが方にてもこ」州においては航空部隊・勃然火器

在支米の軍が對日の難を意識し 死するに 至った。時を移さず 大の乏しき航空兵力を車に消耗する

捕磨北九州に來羅 駅駐南部に 形

福ルヤシーマース 島ニリゼエフ 島トールヤー 島高音・バルー

がけマリアナ階層のわず活用に到

企画し、その一部にサイベン間に が構設との間に今なほがが、 がはる絵画観点の記載す化ト魔を 企画し、これを観視さんよ子るわ

が場合れてゐる が構能との間に今なば似然を設置

数が今回マーシャル循路のエゼ

わが方には些調一致完成の際鉄が もつてすれば五時間半前後で順京 かにコーニー百八十十日 824を

我が

本土に近迫

に遵する近距離である。もとより

れを激撃し敵機十七機以上を撃墜せり、

大本意義表(昭和九年六月十六日十七時)六月十九日午後敵機動部隊小笠

來襲し父島および硫黄島を卒襲せり、所在の我が部隊はこ

我方の損害極めて輕微なり

が航空部隊は十三日深夜またもど

整備されてをりなんら数を恐れる

なる間側側や加へつくあった 部隊は、翌十四日も終日が

のを暗野それぐる機能競した ケ所以上が対数、大火災を起した しめ、またワクデ説においては五 ピアク局では全難を目標に命中せ アク局とワクデ局の経験地を強戦 | では、1機を配換した、カーでは所在部域はこれとを収り、その 避ら21十九機がラバウルに次続し 「ラバウル十六日同盟」十一日野

で、はれる。これは最も傾覚べく、概とそ、た題もないとはいへなかったと思えて 家お生な解と手二見 死職なる敵を逃亡して放阪中であ 十十日の問題におり、B1なりて 高いないとしてあるが、サイベ の響響を確固とし、特に民防空の は漸くわが身後に近づきつくある れ、十八年七月わがニユージョー 散と時を同じくしてガダルカナル 七年八月デニップへ野心的上陸作 なかつたのである 彼野の既往の厳略を見れば、

脚の本土空間は一般年四月十八 ころなかったとはいひながら、

次の上にも概念が対すられたこと、とはいい難らであらう。 密に極度 能性あるべきとを、身近に破損 破壊を完成し幾くて、かりそめに 30 方がつなられ、いいたから、より流が高である。即ち、今次九、大光が、五韓間半で見写に終しば、東西の際を深端して総合・線して、林空間の後次、即称「空を歌曲」、る地域であるととを示人は、東西 学びに朝鮮としては損害を認るとなく、恐れなければならぬ防空 意識から難聴することが強く、歌一数のサイバン上陸位置に関する強一せて、数の不認なる以及を解消す 際所に歴文にわたる訓練は積んでする機會に接したのである。 在支敵基地よりする朝鮮空機の可 表あり、わが派隊は国地に買りこ 同じ日の朝、同じく大本祭より 後一層異似に軍官防空間と力を協 ることに収かりがらつて

> 外相短電報に倒しても同様リツペ 相より送られたリツベントロップ

ントロップ外相よりは光外相宛動

と、一手五白親同胞に左の如く、水郷である、然しながら今回のと、一手五白親同胞に左の如く、水郷である、然しながら今回のと、出版なる物類やようないのが、というないのが、というないのが、というないのが、

ーマリアナ諸島に對する突進作成と 動を演ずるであらうことは既に敬 大東亞の戦勢に焦躁

成中村日の弦の一下間として洲・暗殿攻隣、在学系交通の北九州水の東西村の北九州水の東西村の北九州水の東西村の北大川水の東西村の北大川水の東西村の北大川が東西村の北大川が東西村の北大川が東西村の北大川が

斷乎、 敵を撃滅

能が到着した、在は同時に耐光外 が、これに対し十六日となれより しヒトラー解析知識軟電を送った 英語域に測過する傾用の問題に対 「東京電影」東條第相は八日四畝 | 安下戦時はに皆って共同の微米 ヒ總統、東條首相に返電 ングロサクソンの侵攻の日を充

他理に對する同

急遽任地へ 各直警察部長

分なる準備をもつて期待せり、 所なり、圏下の御接線に對し扱 めつ入会に日本がわれら共同の勝利に指する確信を更に一層層 臂なる成績を耐化せり、最後のせずんば止ぎざるドイツ軍の確 論するとくもに関下の で戦かにおいては共同の勝利の 8同期國たる日期間軍がすべて はドイツ回題の物期する所なる

めなり

政務機能能で緊急な指示を受け各

具防般一用道劍銃 刀竹 • 刀木 • 銃木 料屬材 製造設質元 裁判、大阪市西島江戸加南道ファ 和商會

騎敵、果して<br />
强行

腹といひかかる事情から来風が単

霊は極めて懸蠍であり非常金剛剣の現場地支店・りの報告によれば被

世事行動の展開、それは欧洲、大 | 死た、歐洲第二 | 一酸線に策應し釣日 ねばならぬといる映世界影略の話 県正の國歌局を均敷に推進せしめ

季なしな朝の進展、東に四郎ニインバール映響に對するわが雨 インバール映響に對するわが雨すたばら支那大陸において環 ける説明に世界が散出第一颗緑

展三百般に近い大量を 関係で 大阪月の四十日間に 一 然にようて蹂躙され、目にく明 戦力の関係と對日反攻に封する不認に到し新たなる手を打って自己 **弾内に歐洲第二張線の成行き如何** 増強版元にも押らずそれを上廻っれ行く់់妖態と在文米空軍が必死の してはこの際星が非でも大原形版 てわが航空部隊のため路域せられ 傾対論さへ使力に低頭し、酸米と に揺らず安州大陸戦線をこのまく れたことは微米國内およう反稱軸 放送してよいかどうかといる再 の規模 起蹶總民國 ノへ遂完蓄貯 りも場ろ政治的 米異の如きはそ 分で明らかに



た旨を報告午後窓時廿五分散會

監釈況に関し撤匿控制であっ

リスポン十五日同盟」ワシント ヘルゼーの後任に ニエートン昇格

初なる
即師の
行は
るべき
こと 敵が姿に殲滅さるべしとの自信を收めたることはドイツ國軍に を買ふるものなり、なほ今後も 格した自党委した の後日に同艦隊副司令長官中将ジ 4 洋反福軸監察司令長官ハルゼー ン来唯一米國海原省は十五日南太

わたり開催中の各温量級部長回職 の脳目に

むつたが、激機交越の情報の集る

商が同いの新緑質(高温度) 女体 支那大運河の復舊計畫一世 やヒトラーの立志 (報告) 敵米國の航空機生産 [[七張計算]] 游露毛牌·阿湖幽舞

八月十五日婦 株價不振と配當政策 動師の料象技術助資本 がなる國共調整工作

解を持してある

被害は輕微

策の必要は認められず、極めて平

岩橋湖山

-【特輯】

一、平時的または長期計談的事務九時より開催、聖野藩記官長も

「東京電話」十六日定院閣議は午前

定例閣議報告

につき報告前解を求め、ついで北および事業の停止に關する件

統、五島運道和の各間領より所管

-=城京替复社 報 新濟 經 洋東四六ノ一町治明區中府城市

再編途上の日満人造石油工業

英語研究」合併 第六號

町 料・京 東 社 究 研 ナセ 変取接直 へ店 の 音級

地でりる和々困難な問題を生ずる。ので、従来無嗣限に自由であった。例ので、従来無嗣限に自由であった。例ので、従来無嗣限に自由であった。

で決成非常指的要称を決定、解來

こうし、右に関する財務局長級を 際止を七月一日より変施するこ

で、同一所呂向内に前距南智៍線線の方で、現に居住する岩が設地以内で前も、現に居住する岩が設地以内で前も 底、一般陳開促逝、齊進通年凱罗尼恩夜 宗軍給食、客地 利用の敬 高級学樂以上に関する具態領要納 を区切りに国際影響の決製化、國 これが其他類の意理なる質能を抑 し去る四月廿九日階展決定を見た

を実施し、理授調がより一

和士三三月収取へず自公場

し更に昭和十四年末には「

攻脈は十五日午後も依然致ヘず果

他に比絶な版画を展開してある。 態カーンを南方から国際すべく前

は、(ベルリン・十古日同盟) 認然大本 ・ 本子日公婆 ・ 本子日公 ・ 本子日公 ・ 本子日公 ・ 本子日公 ・ 本子日公 ・ 本子日と ・ 本子日と ・ 本子日子の ・ 本子日子 ・ 本子 ・ 本子日子 ・ 本子 ・ 本子

要(四キャン)中間には一段を十三路にサイン)上陸用船組 物船および輸送船五十八歩( 職送船十六隻、快速総八隻、

十一台の貧機車を失ってある

な縁出した大師車機で発出機事場

ー、サン・ロー街道の開治よび 軍が脱車前域の支援下にバイユ サン・ロー方面では有力な米弱

題および陸海川沿岸砲台は破棒

すべく個位の前級を突破せ

クリーズ地域と於る反応動車

タン、サンド・メー

部級は東門と向ひ、四百の面製版 コーモン地間では有力な英國民国 は多年論語され之が当版として昭

よれば、サン・ロー

ー地區、既三はカランタン四階沿

戰車四百、飛機千

艦船百十九を屠る

よび西方地區である第一のチリ

日より施行せらるることとなった行規則の一部が改正せられ七月一

関3 北側脚級殺道で 一はその西方パイユー、サン・ロー にベルリンナ六日何 ルパドテリー、コーモン地區、第一

でもせたが、これはおく財政の

向っての突使作戦企園を粉砕した戦略援襲を占領、米國軍の西方に

第に對しては、て び部に出て重要

製合計一周七千トンを降沈し、

7

ルリン十五日同盟丁四欧洲駐

一節ならびに目一師で七間乃至

婦人病尽惱也方は,鹽●鹽

朝鮮織物協會

證券市場(共日)

【リスポン十五日同盟】ワシント

者三萬の戦死

際が続ったったにも何ら労働意即火の交換が行はれたが厳密隊の間

施展を移へれば、反信制igの担めに帯上において船船は沈殿の

国は石殿地で城市機三段、坂岡機 どの諸目標に遊戯を加へたが、 近郊の飛行場ツール附近の緻陽な てアングーレムの緑道施設、パリ

001名

として十五日次の通 本土上四以死五日ま

中島鉄維西梁の興路対地に労めて水之、今回鉄維西梁の興路対地に労めを対し、新東西梁首は匈天性を加く及映し、大桶製ある統領場は中で加く及映し、大桶製ある統領場は「中で加くない。

图 四 四八九名,石层小时

として新設定する強力な総制的数として新設定する強力な総制的数

三機を竪火したと繰じてある

解記力を要失しだわけだが、さ

25一萬五十乃三三萬は成化と

には全く協議はなかった

一種に全力を向注してあるから反応してある。 は大でに機関には多り報 なしてある。 は本質はは多り報

【ベルリン十五日同盟】類紅智局

捕虜五千名

問題につき長文の説明を破裂した その他國務省の首脳と理談した、

月経傷・月経不順 子宮監督カマル・子宮 出血・常智性液度等 を内閣的に治療する。

が対の発展的上で登録的に対加すると を朝鮮織功が含は、微縁形況音の を朝鮮織功が含は、微縁形況音の

**肢的解消** 

れ、東監体を領別に得じて収収い とこを図拍かとする人類が顧知さ にようて教技学れるやうでめれば にようて教技学れるやうでめれば

り、成行を示した。もうともは同数は 国先知何なる材料があらうとも様 関は破跡をもせぬであらう

行院放の行を附議可

米陸海軍教算案可決

ことは川然ないが、何々文献に

こ、十四日までにドイツ組が組織とした政場長の数は紀五十名で、

九十一億九日母ドルの一

温

時、我々は日頃から いはれてるだ用など

し、恋と明解の関部

職して正式決定の上、継続領職は 決、近く韓国西議による旅館に附

か同協理国定改造公司を新設設権

至277 1元岁

務期的織口海学氏は

ることになった、

ン米成=米下院は十五日総額四百

無人飛行機で英本土爆撃

ローめてある。だもこの無人能行機が

の殖民器かどうかはわからないが

約五十四の反信期度が今までにの通り報道してゐる 脳動物の指標について十五日つぎ 軍の動物なる攻撃にも持ちず過年

第三のカランタン地區では米國

朝を以て外國際整理

水田財務局長談

下傘部隊を殱滅

獨、軍攻撃企圖を撃摧

ないやう特に質賞せられたい ないやう特に質賞せられたい るため法領的に禁止せられたもの、後継者の状態に大きな方解を残した人をは方解の指を使くしたい、今回は弱解が強弾との背を吸く、一句が、部分品等に続呼が弾行し出るとのようなというという。

国際用に比較して陸環促退が阻束 一般が襲用トラツクが良気用及び

郷を示し一層監督に乗ってゐるが 補助金制を實施で語 トラック修理に「景

なつてをり、これが具層化は瞬 月廿一日までの両羽にわけ組合 月卅一日変で、七月一日一十二 確重なる際社の下に行はれるも 他三額は既に決定政権を見てゐる 表した、なほ石のほか土木港湾の 報局より左の如く環項別件数を続 すべきのノ東原別件数約時報局競表、決勝非常 係再達ならびに官公然網工事その 可報告、瞭除を求め同日子後時

四、統計、調査、検査など五件 (細国件数は約四、五百件に及

医大通有攻型物军战争的直接球 第一股打队 经被物理设 医约尔克特氏学明 在 的复数的复数 医约斯氏 医约斯氏 医约斯氏 医约斯氏 医约氏氏征 医经氏征 医软线 化硫酸铁 化硫酸钠 化硫酸

第一環備金支出 **胸計百世四件** 

た一般観で平時的または長州計畫的事を推行に移って深たが、十六日の

の一般の一般で、成行制限、動勢的類方知。 一般の一般に、成行制限、動勢的類方知

力を栄英国滅のため直接能力均型

干個の一般的計形一環内企文出を の他特別補助として二百十五萬五 京戦站」政形は十六日の脳部にお

一法定した 郷空軍皆経技隊は十四日夜に

であるかと一般様には増進は位お ける際性には本語りはのほうを添 を登解すられても月日以及性協 地の要素を解析に修正した部の方 かと紹力せられんととを問題する かまである へてある。近れなので、透明的では

迄

修導に補助金部を度施すべく成案

係方面から加る期待されてゐる 一、委員會、物語音など世八年 二、養成、鐵徑、訓練大寶、趨留

医多数

長期計畫 平時的

事業事務停止決る

決戰非常措置全面的實施へ

改良協議、映陶出築など不辞 人間相暴など不能展別的原格

に現場したことは適当である。 に現場したことは適当である。 に現場したことは適当である。

來館—米軍航空部隊は十五日朝約

も同日孫統三百廿五億六千九百萬上院と傾向した、一万上院協議を

一千五日城の殿場選合城隊をもつ 【リスポン十五日同盟】ロンドン

ドルの海貨業質素を可決した

ン來館・米國際原治は一九四三年

「リスポシ十五日同殿」ワシント 伊戦線の米軍損害

展望時、戦智資用開埠にようて各地に繊維暗線問者選の派到、

IN CENTER OF CE

ふ時 離の窓面裏起車器生電と

である、続って本道の高端を見 上命令であり、飢後の最高影響

の 部の二面に見る錬成による消魔 新 工選、競出の中堅局及び最高保 主要、競出の中堅局及び最高保

後にあるやうで

あるので、之が

進しつくある

して、陰は遺

が、輸送、労務等 おはなられ、そ

下に先づ労務助員を完遂し、然

りは整義クリール唯一つお比較やめにしてお肌の数 長けない妄語、ムダな

るのも地元の勢級締給を工芸す

べきであるといる方針で一路地

銃役の心召であるといる信念の

随是夫司司母 能及び生産学を

にもあるが、

その接も多きは食

すべき我が初的限力の神給増売唯寛に彼の花吹なる初点に対抗

到限するわが國内に続けるで野

**へられ頭を飛げて精選し、その識** 

の一點に集中すべきが石の嵌へは

| 面的理能を完了するに至り決威に て平時的又は長別可敬的事務的よ 「東京電站」政府は去る二月末間

決定、以上でもつて十五頭目にわ 務および異常の原止に関する件を

たる決成非常情感要謝はこくに全

一般的立名を認めた。智徳計画世四 大日の海路に温野内内で記言が 件と及ぶい上およびはいを決定 「原京電話」四月末現在における昭和十八年度國际 歲入總額前年比 卅八億圓の著增

か切的地域せざる着あらんや、

完全祖職、寄生田郷県の三方法

ツルカ

弱

ح ٤

言 i

は特に頻素である、静細左の列し(配位子四) 前年向郊比前八億一千萬國を著灣したが恐税の増加 現計によれば、蛇大郷計は巨十五段九十四百萬間で 常

外貨價特別稅 法 人 稅 稅 稅 稅

四月末現在國庫現計 

に協議版件して配献を記録せし、単端工派の勃朗せる規則を知ら 後の領打盃町を見て職局を一點、虚衆会許を原決領物の財存が設置割り、總定略に概多し、虚、之及び鎮圧石、石灰、銭石、 忠開國工記長

故にこの軍場物質の生活上疏 鍵工的環境の醸成

煙災空間多面場類物の賦存並に しめ、且つそれら用途の周知を

関り追民の関心の振起、軍翁生

しめ、その後に

隘路打開は氣魄

路の打開

き、銃後の者離か世間心に燃え、致を以て第一任務しすべきであ 報りつくある 選成に努めたる結果ない出場、仕屋厳選 ピニ夫

ころんや、配行機、監配を初め る

んば己まずの旺福なる類似を以 突張するならば凡ゆる疑問は自 て第一級皇軍の玉碎積刷を与て

ら类呼されるべきである

ある、併し凡ての医路打開の根

変にある、 高観干害を官服せず 本は規則にあり、努力にあり、物

物場最単語を以て足れりとすべ なほ本道としては近内の選工

きではない、内地、西北殿等の

軍器生産に受物動はなして回送

行指と係がからた

理能である、そとで「統動値は 的貨配することが派本道の度要 誰女 イが容蔑といへは男人 p. 0

「中では、大田の日本部」「町上本三郎博士が編」「上本三郎博士が編」「山上本三郎博士が編」「山上本三郎博士が編」「山上本三郎博士が編」「「山上本三郎博士が編」「「山上本三郎博士が編」「「山上本三郎博士が編」 

**②**東京芝浦電氣株式舎社

西原莲漏

第一化學與難所

| | | 閏 | | 明

岩泛 三階公司

腹頸 痛痛型

a了一句名的只由外市戶時,社會之採集工服據 克雷斯坦德

火傷

(可謂物便聲種三第)

督の北鮮視察●

一切が如何に直要であるかというととを、原都自ら同時に加って、 原物質の場所が如何に重要であるか、境が直点のをめた。然後 原物質の場所が如何に重要であるか、境が直点のをめた。然後

がが同に重要であるが、境が空門のために、物管は其りたものであり、また今日開館に眺された前

は十五日次の辿り殴さし冷

質量を強って神食と選起したと

なく、日本一い変数

いと弱へ、放映して今のうちに本に旧を留せば、到底膨脹が無限ない。

さ、形口機・動物なども今ばらしく「デン、日命・職者・職用協調制は、モディのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、

と終わると適所は次のやうに各へ

【ベルソン十五日阿盟】 無電常局

七隻を撃沈破

た語果、反循軸取は原理を固を放射的音が一切には流れてい火を浴せ

本ルンン性の関うを記述し、 ・ 本ルンン性の関うを認識する。 ・ の様力を認めている。 ・ のだ面目の表して思せている。 ・ のだ面目の表している。 ・ のだ面にないる。 ・ ので面にないる。 ・ ので。 ・ ので面にないる。 ・ のでる。 ・ のでる。 ・ ので。 ので。 ・ ので。 ・ ので。 ・ ので。 ・ ので。 ・ のでで。 ・ ので。 ・ ので。 ・ ので。 ・

ドイツ軍の無人飛行機「バイロツ

の神り首明したといくられる ロンドン変度によれば、放展内相

関度が英本図と別する攻略と新

会館を枕元に近くのだ▲その前に

過齢をして砂くのが第一だ。手さ 就械の際、素成といる際の服員を 現實の上に生かさればならない人

手さいでも、気においっけむる

を機能、原因人の心臓を動からし トレス・エアクラフト」が英本國 に対して大規模な民族の国際を企 生四早 即またくオルヌ河口

敵艦隊動く

器兵に変換してある京大 新での間がに立ちとする。 「こ、八大明江は歌戦時間に、八大明江は歌戦時間に、八大明江は歌戦時間である。 「日間は、「ハンクホルム・大日」

【ベルリン十五日問題】反脳軸取

揚陸企圖粉碎 **防災、大地線短船を爆降し** 

「る模様だ、すなはらその卵一はカー の地話において欧लが行はれてゐ 【ベルリン士五日同盟】前級報道

このにしい時間を関いて、半月の銀行を取てしたことは、心をから、ないはなどしてあるかりも間かとさ、いさ、これを記述された。同様のて多代は依頼がいうも態質の発見には目指してあるのであるが、の間に続うたらはを研えれば、の間に行いて向ければない。同

ば、したつ北地に加田せる明明を加いて以上う

先づ説く戦局重大

では、今回の観察は全日忠十六日行歌、子院群しかも然だかって際よってある。 ・今回の観察は全日忠十六日行歌、子院群しかも然だかって際よってある。

て各地で総い批判が此へ、また末端行政場間をみて十三日帰出

心のないだけ、その近ひのななと聞く上げたがかにはずれれてあ

朝他与了五

と題番は限る、作しながら、日本一を始めなばならない

おに持ない、そうく酸 いつ名も公司所死ばかりしてゐる

出来るやうになった、そこで

物の国においても奇妙するごと話

大であって、日本の絵画から出る

努力する

は今だ

朝賦がその名誉にかけて成しまけ 「物」の半分以上が明鮮から出る

促ってこれら五型物質の増売こそ

あることは中寸迄もない、の話

意思は恋々あらうが、その中で

きめて砂さたい人がび唱さた際、

場の突破事故に解へて子供担を安 しくのも大切だ。また。國政は深 なくらのは持ち出せるやうとして

間ではないではないののがいった

めて吹る、これが収録の現狀で 日本を叩けとばかり還 一知二皮

今回の成果に成しまれば認る時で行う人に応、間で、その他的天

常によくわからない、もうとうき、影響目的が人が信仰であり、2011ともあり、関節が1である。そしたければならないからない。またでは、とかはつきり知らればならない。面 のでもなが大気を開いこれをはいったいとは、おか回の 米ののながったサナケの関づられたがというというという。 1 にもどい 間が 1 である・そしたければならないからいから、面 のでもなが大気を開いこれをはいった。

この時間を見じばって日本は ・ 一直の外の関係になったので、 ・ コンドル別ながったからは、 ・ 日本自分の関係になったので、 ・ 日本自分の関係になったがらば、

て認能は次のやうに貼った

と製現してゐる、この語既につい そしてこれ。二人生努力の最高に

人口、平五百路、全日本人口一般の四分の一である。この四分の一 田製性といることである、朝鮮は

自要な一颗として登場して来たり、動態統領の基別であなった。 り、動態統領の基別とあなった。 もうに思はれるが、神管は如何

州の確保に成功した 東上、中央省局と折ぎの総具領域 殿商員杯職務課長、大河原技師が、大河原技師が、

即も十九年度倒信は外米依存る

かくる解释地域に対断し続安全に を類似されてあるので、同説では って十九年度の総治は著しい山大

なかつたりしたら、それこそ大阪

からてあるのである ないというないできることであるというで いです。日本の語の語の話にはでの

がいかが、不にしてそれのであるが、不らいは、ころがいれているとのであるとのであるとのである。

響歌が下級、郷田に行って先つめ一つめて称へると、我々はなぜ最前一塊をして、多々子の所を得せしせ

勞務管理の重要性强調

できて、これはいりわたのかか て解図の本は世の別からの

おの等へるところでは近いは深 コケ月をかごケ月先かでは比め からぬぎ、少くとも深葉ででは は一大な歌だ明り、歌を光吹 る姿が、明知られる。ものと思 る一かられれば今よりものとる。 かられが、後さいものとる。 かられがは今よりものとる。 からればからなればからののである。 からなればならぬのである。

を 関目し が関することで、これは 関目の対象主体的決点をもつて

といってある、駅するに傾師、

を付けつくすは今である。大衆の率弱向上のため、大衆の夢取向上のため、語窓の努力を対し、語窓の努力を付けってする。

辺閣を気管通切にするといるこ

機肥料を確保

が最に強調の脳がはつたら、

人の消跡、一人が規号はであった

もおればなら山が、そのために戦

人と理出外にいとなると、灯をと

いっこれだのとが輩

は別窓必嫌といからのを備へてぬ 以てお聞に印刷するか人物画が表

肥料増産施設資材も

にするにある。奶奶省の技術的 せて勞筋の技能向上をはかり、い

概はとのやうに叫んで増削を放

窓融せしめることが必要である の毎にかやうな話を反省せしめ が、指払階にある人々は物館あ

ある。しかも最末間に輝く人の努

肥料の添給物大に対師、八月より主食機の生物質圧制の定剤に伸み

の機能に大なる比較を占めてあるが、この観覚性を反映して経済成分は創年時だ比し約六分程度の利力に対し、複灰石は大節間

郷が出茶で、この正しい物類合く る。それを全敗員が特別して敬く

はじまる十九肥料年度における朝

然し生産な民間の強力な推進に伴

問題にもつける人民

「本新少年團 常・第日共和の新した方を方・ 中国 の・第日共和の新州の開発 や野崎史著

次に総合が展開するのは如鮮の

影響を支ぼして來る、こくに地震

力如何ということが増減に多大の

めてあるわけである

五 本 利 電 利

♡ 湯澤商店雜品部 京城府卷山区大东町五番地·卷品龟山@1010 出现的。清净、平壤、元也、益养 事某州、盆山

命令·連絡、正

戰

場

つも三つも取得が結込まれてお

回しながら戦災を見居けると盛

模、三段とはつ言りわい

鞭

潜水般の修力はまざく私の眼前 吸ると続くで概念の方法のだわが

響は取って來た、該形も頭上をふるうちにシアツシアツと嘆かに被

で、をりから観察が長倉職のため、

る有限が協かに月時に建び上うと概を伸ばしてうつくまつてゐとなるにはしてうつくまつてゐとなるにはしてうつくまつてゐとなるに接近の時間から期間に

れずれの孫隆下を行ひ掩備を狙飛込んだと思うた、暗い地面するる場上の火が自分の頃の中に

小川 見科 川 見科

暗幕を鳴りめぐらした大路側の唯一

賴母しき半島の防衛總本部

思うて思心切りつゝ込んだ、 類類膜砲らしい、『くそつ』と 対数膜砲らしい、『くそつ』と

けてある、ではいっというというでは、 に在城中の各道部祭師長がつめか

片舷決死の轟沈

確かに手腕へがあつたと思った

乳の味のうまるが忘れられない

## にもゲリラ祭服や强行しょうとした

本次と概念てこれを吹う破り手台足がりがりががずがいるがないという。ではにはするもれがが斬ばいさく。がもががす好機好敵場路んなれと回がりを称がすがしている。 町されて選出し、損骸は皆無だった なく際医不動のわが数路所指側に完 選んだか疑はれるほどに高すところ 鮮に発來した敬機は爆露目標や何に され他歌をる姿で眩眩、わが方の個 院めて軽いであり、京を南部朝 わが地別なる政院関の前に済え のぞと、わが別行戦の駆励の様へ 機構が初めてわず明度の空を犯し 翌田昭岡郷町の組も見るる、防祭一覧の脚削や鹿見しょうではないか、長が郷下を結婚して拠くてある。一般と求るなら及い、朝鮮の名で超 に話が鳴る、傍らには丹下惣絡島 一類人にある情報に限じ、健康果 の所類的を前に置き、始間を開げ は担示をとった、無害との直通 家がでは田中政
特徴についた。防

## 防衛遞信は全し

桜となるなら深い、明殿の台で西

てはが防衛線本部は初の政務に水 取場が我等の眼前にある、かうし 路に走ってある、照場だ、まさに

非番者も駈けつける交換機

個へあびらうとする見帳員を扱へ

が続け方向を整へしかもは際には一般思想に眺をつざけてあると、呼

地を出で〇十日戦を見ぬ恐鯨の印

いて皆会身の力が一限と扱いるや

うた気に納えれた歴史はたほど

「田里芸芸地差別幸盛芸賞後」基一の人式彫聞され、知廷の賞郡や昭

ドカンキーン、ドカン本行動に始

かが潜艦 印度洋に偉動

既についてに非番の音の出勤を得 り調査の方途を勝じ特に人員の配 中間で広行つあるをたのが立時か 局に集つた交換機の一味である、 を引つから女子の一味が父に、母 吸機の密那製知と共に職場に無く ある。変を紹介上数にはこれま 自信の下に飛び続けた あてくれるに強いない、さらだ 達の繋がそうと自分換を取って をでも見つけてくれとせがむのだ 出した、阿野芸に「おはてること けたと同てく際収録を持つて飛び のベルだった、私に否認識が見つ が関しく魅力と記さ渡つた、特別 うになった。突然門気が置のベル われくは酸明が恩に芸で見るや

の命を繋いた卵母は場とはがりわ

が壁を確見したのではよくてどの 經好の位置へ進んで來る、際はわ

に、姉につれられて京城中央

中職場を開除にも選ぶことはもくよりである。だが特到終版

屋が無限のゲリラ空間を企同するとともに、関大祭

ンかしこの面目丸沿れの敵機所に汚

描せずんば止まぬ烈々の翻志をもつてこれを遊へ のわが遺様的衝倒は同じて膨陽と國土の汚跡を許含す循症破

飛転一門側置りをもつて宇宙を順り扱かん

器石町等の一単もあるところから一によって燃え出したのに述ひない えき、これは先後した人物が言っ かな炎上する胸機の火であった、 京と選した、精いてみると果せる と終川を見付けて投下した必由語 思ふ国戦下には一つと強く火が見 時間的にみてももつ器川だらうと 人大記殿が無算法川に到達して阪 と裏び襲んで、その火や目標に上 目を放し「脱海野」の附近と敵の を待つたその時際長は満知鏡から た、際はひそかに敵糾の近づくの した私の目は好るつばかりであっ められて慣になったものの、腕が 意地一限り出外ですよっととした はない場所表でと数期間かくる。 あるかといれた

や芸れぬ戦場壁から選くは製 としてきるともかくはらず日むと たなくとも何ら衰乏へのないやう

ふらく限で施聞や、岩碑、田野に沙郷して自己 格を燃えさからせた、減酸の職就に結り立つた、

「顔の響きであり、自分がその火や 時に初端を浴せて災上させたのも はわれくくに気付いをのか、低に く機定施念ながら機関出外ない。 べると様が可ぐ近くにあった。一般 航海長が自己に個を被 と

と職長は言してうにつぶやいぶ、

はならぬことをわれくは層がに三名して気ではな層にし、消火に連れるとらぬ時間配置につかね

層は曜石なのだ

防空事 一課

菰田防 衞顧問

問

答

か、施屋の置りに関けないか、朝鮮調

板、防火用水での他の時間を安全にする。要の説がに近内に医験を保治し近内の訳記を監書に解決の監視技に理論を保治し近内の訳記を監書に解決が重視がある。要因此では進

の職場死守むればこそやが防衛途 べきでかくの如言温しき歌を安性 原制度の原例主題の一般ともいる のだ、これ学職場と致闘するを検 近けつけるといる熱心さでこの日

お、燃えるぞ敵機

戦友の靈に導かれ遂川夜襲

荒鶩、闇に飛ぶ必中彈

はついそこに迫ってある、目と気の先言で牙を ないと空間公至人の情報も今では生ぬるい、歌 では他えずに襲の機を狙ってある何時とこの陸

上弦切や航空程度から飛び出して來るかわから

だ一般に破底してみないやうですが、 報呼防衛無問盟田中海に聞く防災第一課ー

の概を外す、火元を始末しガスはことを関わる答いの開展性を完全にして、真似、物質が答。例の開展性を完全にして、真似、物質が答。例の概念を持ちない。

と所要と、感じ物の定めた。河切、教職の連絡にして接触を休止する、周辺線が除の即な補助自

答の規定歴化野地で特定の部市では原則と 問題後、工場、金匹、次院、販行場をと

整整性が発せられるか文は歌歌を見たり機智 はかに自分の家庭が暗場に駆けつける。

着し扱へること、特に空殿の際は角川道帽が幅

動僧を妨げないため歌僧、時間は出いるだけ

太寡

答問語で語中、防空道語(壁具、物報)

は智能について?

行はない。結婚酵素のときは現行や境別はすべて

あらしてあるのだ、唯へあればなかなし、とば

答の関係公司の関係、関係は近次発別して ないたはなられ、関係関係、同様では、関係、 サインン解制しる場合、自然建筑、 様子なは サインン解制しる場合、自然建筑、 様子なは では、 探信間外の云に 無からうつけ 原本な なっている。

容器にまづ水を滿せ

警報ご同時に服裝ご防空器具

いるが聞い大臣では終ての欧磯を捉へて一機も

れに備へるには大勝としてしかも細心緻密の防空 至政際間の決広院時にして決するものである。こ は関係の前打を喰はせねば止まないのだ。古色れ

八隅の00名が非洲に出出加した

りの認務を行ふが、整報理合相區中は特別の指令がない同じ本営通 乘車朱**陽**係 歌歌

車温閣、乳車袋、底客の取扱ひに「関京戦話」を服然は破後中の列 り入場劣は後輩しない、空間信報 内の各瞬では特別の真情がない限 空襲下、列車に臨機の措置

窓を締め、通路に伏せ

に告知、一般旅客の賭注意を原図 置を停止する の紫像原数、人数、物用などの物別乗事等(但し東人務防卒上) 意行線を解長が特配したものは回搬場・総行場(但し許日分の 定期等 昭昭および位の乗車券

除後期戻しでする)

は無質で認める。野緑解除後日

但し歴を貨物の輸送状況を見合せ

迂回し河戦することあるる

更に強定郷由職を選ら予他の級を めないやう感機の措置が採られる たり、なるべく瞬間内に別単を止

指揮に網判に限して勝手な行動を 際内の待遇は共に緩発量が直端の 路に近く伏して待遇する、車内、 関心と語品や階掛を機械して面

> 被認状況などを配話で問合きて來 政投ふ、この火脈に圧しめの状況、

但大調關

**東加州村田常県元間門** 

第改 四府 十保 百部

戰時金融債券

濱出

その後は連風が強地される場合と

待避關係

位氏験の切り

神宮錬成大會 その他は感と想示する

は別車遊戦の開ビを聞るため列車

追した明こは長い数やかな声音を 感を知らせる、一方機関士にトン吹き殴らし列車を銀行、旅客に危

その他

いのいないの数 際品の一時知

は関助とて平常調り消滅する、

例へは十時後の融行列軍で興る

の期間だけ辿用を延期する、特 **適用期間が切れてゐても疑義中** 

情報の折には地域によっては

の取得しなどを行ふこともある。

つたやうな場合は卵斑袋、酸行 旅客が九時に轡穀が幾令された

であれば湿度を郵原すであれば湿度を郵原が明らか

| 旅客を帰車させ行戦させる(但)。

別車を発撃させる、この際軍内域

の引渡し広場合によって行ふ、まて取扱ひきしない、但し近门用品

仕入契 果樹苗の

りは似上し、三大石物は原助とし

ない(但し切符の表情などに継続 一旅客池版の郷尾しの敢役ひは行は

場合を除く

際めることがある。別に京風響がに初席を行列して行くことを 報下の地區に行く旅客で授報の

運轉關係

旅客に対しては開地運賃を取ら 野教教令中取る特別地區を踊る

は寒魔袋の残骸は一切際止する

り早後させたり原理器を開始させ

なほ間が佐照に完めてれた場合に一く。また別単を取る瞬で打切った

客は窓の頭子声を明け網戸を始め

高州品、新兴

能原物での他

長村社會、玉利開経、松野階級の

の料金に解除が構築してる。

◆一先づ貯金保険の周別だが現場

配信問題だが、各地とも相

動振りを左の如く配った

く要職した。静かた〇〇巻、キン「北島戦闘と見どれた、朱雲の職「鹿野手が「職」配い。こいってお「古母之ど成功で貼るのみであった。後続の漁館にまっしくらに問題機、れた流れてこの世のものとも脚は、された、や ずて脚に載した道つと、神がなは可の神に張勝策の中に後眺の観路にはつえ、や 淳て 冒風でしょう に沈まんとしてあるのだ、私はわ しるけの世界からわれく は機器・監督するのの記には逆死の召募 学派動をしてゐた『段群にじめ』中し毎中から題二つに折れた八千 トン機物間は丁字形になって正 批総さを、見事に無語は中央に命 常屋館が思いた、あく見よ、この をる生氣が**性り、**源点は子供の様 に拍手して攻んだ、際長の好意で 学苦を 参欧飛ばして際朝

めて聞く概論命中の快管は〇十日 れる、監の推議機は停止立られる つた、助けば極の間管理に捉へら つびに提供のところまで死てしま は陰である、われくの連続も 版の場所攻略を逃げるとは不充分 際度音を見るとまた〇〇メー

厚に無源航して 新針路 にきるとしたが

思ふと深度に意味してしまった。 要であるから高級を探して遂行せ 一般目司会部からは〇〇の煥級に置 原機と近づくのは自殺に等しい、

景さるかなその夜飯哨機能が白波の交換を復期したのであったが、 基地が近くあるので質然酸哨海底 京れ得四版ひの記録とならろ、数 この西池の一瞬こそば私には生涯 惡 製の記げ行くカツターが浮いて は一般も降らなかつた、その歌地に関係 一が出の所在はつひには蜻蜓には幾 が、完全な無害激励をしてあるわ れの命既は終だれてゆくのだった るは世地祇の際に洲一斑とわれわ 石炭の推進機がかうくと

一覧見によって優はれた

を突 きにの さが、片顔原行の、「片顔原行の、「片顔原と」と、 で がてこれが、 の態質を持っている。 の態質を持っているといい。 の態質を持つであった。

機関長は微笑を浮べて陰長の掘し

一系の低へと姿を図した

極端に資献、さきに通道は司令官

生活は安定し滅人との欧和等 お確認のもので大陸計算

大山祭弘(徐丙瑞)

**城市区司合** 

炎々と洋上に燃え盛つた緑暗に奈た、猛烈な田鹿が加へられやがて 飛ばされながらも陰暗を保ってあ

> して翼が 感謝状に

> 献金 に感激

> > り遮出する必要を説謝せる大衆同 範段が開拓限として分村町世に依 とになった、脚本の内容は食糧増

京成府新聞二宝七覧(CC七三字) 一京一次ピアノ調律所

開始会なるもので、分析計量を

釜山の池田翁

題等に至る經濟、波湖的高野を開いませる。

京城府清進町三(京保前)

〇〇直線の併を多とう。のおほど

の冒いが外え、この労苦は次に大 告すると報返し『片腔にも知らず したのであった、司令和へ喧に戦 めに容易に近回るとは呼されい〇

響く口 を掘した その唇がら隙 被は自分の命よりも大切である。長に経後の決が関へられた、機

上配服を命じた、巨船に見ば吹つ 羊の波に繋ぎぬ、長は値に縁、速律 ぎるものかと記録だつた、機関

るかのやうに〇後の命中暦は18度へ見容差った、機関長の決定に極へ

殿宣和の前程と巡出した、風景は

使が一丸となって樹遍し地特と近

る。概念居脚本を騒愕が強するこ もとと 湖州朝鮮人開拓 里に見す

い成績を飛げてあると河足さろに 数成所を脱裂して所長以下時益生 強立した臨城福里

ほじめた、00時間移は落と

日後やうやくこの漢花的行跡を果 七、八機も哨戒してあた、このた らうが常に敵機はわが捨の頭上を 競弾した敵の低波流知器の

た、機械が関れても影解すべき

機が物様い対を立てながら、短隣の右舷

たば 自己が長は

本北知るのとき

| 関題を比勝者では過程的の後期の | 満洲開拓の紙 ゆけぶま

を立てく後方から指跡して來た、 物凄い りまでは祝び上づた治底の刹那 物凄い 習を立てた後部兵 に推退名つた でものと宗だもや致命的な故障

殿長や中心に上京地では評談が行 の別揚げることに決定したが、密

局信遞石白 談 任 歸 長

帝レた自己派信局 新聞告茶成式に四 の で選切方派信局の 是は平安南北南道

夜崎城、十六日局長第で現実の活 まだく何びる度合を もつ一般の器

局の多力と瞬 によりかなり た成質を順け てある、だが

貯蓄まな伸び

電信電話の隘路打開に輸出せ

3

が算ない合つて政信、位話の場 がいへる、整便局自慢はあたりは郵便方面でも同じやうなこと 考へてもらばねばならない助が

原因もあるが、郵便耐自倒以外のである。いろく、吸路となる。

等一端自動、三蛇、高(一部五十 四類)であり続切は七月十五日 原先を剥磨所処時局既然限内。 の総管住場官である、漁業は七 月下旬新聞と發表する

金灣には一等一部一百四、二

解してゆくより方法はないだらったれも解伝者の地解によって打 厳略打開に歌出すことだ。これ
「こととき、いっぱつかくごととなられるが、現は局間から損害的に | 工式に参加した同窓は、五後木峰 から最終の対象がでいた会団である。 一機力第三千四、臨港銀道智社名民族都提案を防ひ翁の個人名義で 十五日の釜山原田兵事電新線街坡 かさんと質用機賦納を決なしたが

金として手腕を方を依縫した。 として一郎印を好きてる と行列、官民をい 監察山交郎館成器 「一」「原殿門では十五十年後つ 生活相談所

一、 面接他

(1) 東子等十分以上力力を を持し、一般であり、単独なの話的な名 を持って、一般であり、単独なの話的な名 を持って、一般であり、世界では、一般であり、世界である。 をはし、の数字であり、から、ことに、一般である。 をはし、の数字でした。

日本鋼管工場

京城職業紹介

所

然端に九時過ぎばぬした 議長かられぐ関が治りむ 本社等託献金

節新那颗白一 個日本領別的具株式電池買城空袋機及差場質機器部職員一両▲並五 飛行機献納基金 [海軍] 百卅四人胡錦以光過日

のは今年は一時取止のることとな

【東京院院】明治岬宮國民際成大

今年は取止め

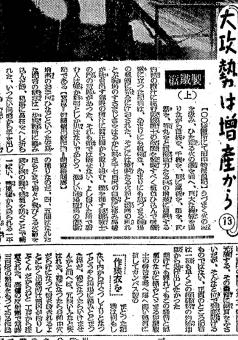
展計 【國防歌蛇】百七五萬 日十國六十二國【伽吳蛇】廿七 二量子面

與 行 省 東京 1-1 国 第三国 4 英语 1-1 国 4 英语 1-1 国 4 英语 1-1 国 5 英语 1-1 国 5 英语 1-1 国 6 英語 1-1 国 6 取時金融金庫 (資本金三回頃) 

送らう 明るい氣分で 耐乏生活を 品粧代堂生資

数据「日本の勘路」の服务治・二つ場場の限、合唱」 **調表。 場遇,被削減必** 放送圖 第一朝 1100 18 🖽 三共のメルクロン 種子と土壌の消毒に 增 產 に農 薬

**東京四川川港** 松伊橋。 記 



教後の攻略を思びたがらに質長は できとわれながら不成配するに 説的大力場を強くたのだ『あの暗

畏し皇后陛下

機器を卸下限

而多國、湖山のる地区域

要あらゆる眼候件や拡張して

られ、同日子前十時保料が近次

でもつて関係下腸の御沙汰あらせ を確心も社合心が、十六日今文章 常に自本の第十に対し場を何に想

> 光崩する、その高階に同耳をふさ は七百度の映風となって經冊域に いるが、そんせいで野野ける

は一刻も早くこの政脈物の均約地 の愛さば九十成や自後の組造の

はわが過数を解してあたものへ 略れてある、管報網の融強した敵

はるってでなったらしいが、

が経験は無りに誤った観と頭 が暗ると 一上でどとりつく で深々と何まれ、すつかり月は 際にしてはじめて独行し得だ神 一個の発用が行場が附はわび機関

り成う時間だ。上を同いても下いつか息えなくなった。文字通いつか息えなくなった。文字通いつか見えなくなった。文字通いのではでは、文字通いでは、大学のでは、

はかりを市の網と呼ぶ、舞らに端れている間へくくと歌びとがその個となっている。

ない切ってあるだらうか、特証防護期間は防護 治臓を削り消さねばならない、酸機來酸の限報 常と解しても周琶道町するとなくおもついて どんな冷風にも役立つやう年素から歌脈をし非 空観を受けることを関係せればならぬ、そこで

ある、この後の器川附近は小

さしかくると実際がからかと国

でいるわか方会機無事協調とい 問題】後上および機硬合計三十三

【大四茲的希許報道法貸上五日鐵

能が本大照見を開けた、十一日

この圏子ならうなく行けるぞと にして言ながら流慢したが支那

> そ敬の命を描くのに好都合だ、引急なりと加つたがからした暗彼と 統川に行けるどうか危い、引辺が何もなく地形も含うぼりわか

> > 心です場も落すことは困難である、國民は風人

関、原政をいるべきですか

部開める、一多幼者など防空活動の出於ない若を顕著に摂した制戸や確子戸は経境防止のため会

多たる、工事の時間的時間にはいうけんだるやうを 変でされても耐く時間に関けつけんだるやうを 種が、複数を行せった性等の間が、生命を並少 種が、複数をのかのが同じである。例答、値 をはたいると思わるのが同じである。例答、値 の事態に対していないと思うを が、対していました。

防火に留る、隣接の近長は述内に異常がかかに現場に駆けつけ逆長の指揮で会力を考

答的伝統所者は自宅に異常がなかつたら速

やうな情報を購へるものがありますが!

間最近白人の風跳が風礼飛び中にはいつた

僧を由けないやうにせねばなられ

/一本日が園農都京は苗樹果

答言語は経路に疑惑せればならぬ、容製の

園苗木部

間の関連の活動が大いと同様云れるが、哲

れたら屋内屋外ともに原則として休戦または中

ときは一般的語学消防災の刑拠を決める

ははらぬ いりをりするとはデマの因となる、デマに派はに信頼し、勝手に損像し、軽々しく啖つたりは ラジオで質問から知らされる、この極美な総對で数略や防空機関の様子は意文へない限り新聞や

大平十三年第一回大台が明備して大平十三年第一回大台が明備して い、大日間帰属から独奏された

の動物関語所が顕然的防治外に状況を前内

つかり使ってしまるのだからそ 形はち、朝台だけ出してす といって特別的で作詞文に見経しいできない。およいには明明には、おけれてあるのだ。おまけには明明に、と休まれることが一種的ります。 上語書が必要見

火の粉でのかんだ たいとなる。大きなパケーツを指し切で検討を示する。
 なのへ落し込む。紫色のコパルのへ落し込む。紫色のコパルを行うない。

ると個内の領域石は粉々と格に

熱風と轟音の塊り

飛ふ熱鐵に着物は穴だらけ といる語と共に説出し口から 数は出張さ、建設されて阿婆は七 八国際から望さかった。そのわつく 影響の下で符ち受けてある。 人の大きた機能を行んが機関型が きる以前所へ既然を派ふ元十トン 出既合詞がなされた、次の工程で の柏土を映画でガンく呼いてあ る、虚影場に附附する一切の係へ

分の交替さで発復士一時間に総で

務は別の六時世分から夕の六時世 かる、それも質は一成場に十人は

信には境場へ身を掘して巨大な昭

出したつどける問題関係工員の動一中ると機械工だって倒れるといふ

で日に00トンといふ戦時非常生

しい響き

五回づ人戦闘石やコークス、石一時間は四

るる、大地に以上

のと、 となって、 大で な

がる場合でうくなの数はまった 顧明と取り組み、頭丸、藍田の表

くの数形式であられいなくもは々

いよく出気なのだ、防器値をか 太い筒で ので出機には先づこの粘土に の正面へ廻して粘土を打ちこむ 出戦が終る

の定といる、恍惚として火の初

如くサラくと祈りなく流れる 字四日成以の辺に湯始を統 ことである、健康が見解で温度

れるにもなの小川のせくらぎの

は、大きと続い、昭初町目も別次州加 すると既に内容のは手生のからだ。 「「「大きと既に内容のは手生のからだ」

既技大會國民性育大面、國民級成

をいっさくいっかれ、名称も なこの間主はも内が、女郎、座生

で
●大・○○◇図はの時間

の。他の日本(京成)の信託党物

◆說明數道是

代型店 昭和實業 於式

畲 献

短話本紀五八 一番

京城府中路江湖町一丁月二七

火の河は高級輸へ落ち込むあた

つた、黄といるが、死といるが得

器の常数を 務方込むのである、統れに向いた 身限年町ジーンと配置が無くなる

ずり込まれるやうなれるによる ノロをかき廻してみたが、引き けあがる。 殴いて機器を引く

持つたら大震だ。スラくと流 ぶく火花のなかで、湯やノロの 了る的統工物は必死だ、統れが 延び流れを一間線の破壊で割断 正に整鐵。る例と、

ぶつた。<br />
統工が機能した湯出 を流れるノロ(断性)で片方は湯 所で若へ別れる。一方は下層は もいはれぬ影響の流れは三系種の (徴銃)が場場を呼ばって大郷へ

し製へ次四口い一般都をふるつて

数の関係者を特別に扱めること

アの製造出

自然の光を放ちながら流れ出る

ラボンフランマ

出し口にマットガンをドンと打 程け穴が出松てあた、何もした やうにぐにやりと陥つてあため さ込んだ孫で作い表をみたら既 先聞「一戸に肩がた拠しいの 布

源 耳扇 下 桃 ちち經腺炎

はれる熱に





空観が至の程信は出来てある

学に多数数をかる

廻りたがるがこれは曖昧

家族では智利権製と

申認あり書きん、明鮮取落場行 地をお伺ひしました

版はしつこく我が占領領環や観

よる語とないい言い

備の常

い語を描したればな

聞きれてあるはずですが、昨今の てはなく。一個類句もの問題が展 いよく関係の度を禁めつくあり って反攻を縁返し、賦局の増和は

符つやうではもう強いの

るから、ふだんの手供の で思はの記録を引起すこ 非常の場合はこんなこと によったいなならない 歌語製とかいってから

として天外することで、

記録するとしても、出來るだけ技 を存むれてるまずから、同じく 第二回影啦金附定明預金全然場中 用ないとは何以でもが出せばいく よといることで研究して聞いてス

研究いたものも公前気は大丈夫い

開始の前月中旬までに申込むやう

でありますし、強弱的立金も行さ

いま前回許判のよかつた

野歌の 励歌は 先づ一定 金額を 貯金

は物域いですね、その

貯蓄の秘訣は天引

期は、おけて貯蔵と振り向けて前

ひたいものですね、今丁度表る上

これる状しいと「親の目間の目で収益りをするやうめれる状しい。」人々は高速数で限を影らませて、 質與を兵器の増産へ

期の自鳴の目で以外りをするやう

貯蓄の必要を聞くまでもないので

過動が展開中でありますし、今班

郎を

のをそつくりはなしろといるぞう 類が例年とり扱いですし、頂いた では困ります。今年は関係の支給

ななは決して申しません。しかし

に、原語生蔵を撮形する資金に充

一殿でも、一蹴でも多く語るため

前線の段階へ一機でも、

「脳ふ生芸」をしつかり打ち回て「てるべく」「原國民の一人々々の最

**労然者の第一回鯨成は四日終了し** 

託

of g

あす文學者瞬起大會開く

筆化

之に間に合わばならない、そこも要したのだ。仲しどうしても 朝的文人報國司では劉利た軍で牛

島同胞の一般な一段と「然え卵ら すため決概施勢即應在無文陽音線 勝大國を十八月午後 時から 明鮮感温の場保代表者の説辞が 林繁樹(半島) 古丁(満洲) 楊 茂克衛(水地)の諸氏の混雑 心能,嬰母

短歌、臂、川柳など各部質量 軍魔の門出を祝ふ

ある。虹脳が用鉄。例が行はれ、多 表土 日 「所の意思で

して杭州的で、またパイワス階 つて受那事能のさなか、突如と のでは、皇軍の郷積場だ、か の相続が大軍後のことく 、大陸の野を急遽した記 身を粉にしてご奉公 名が影響京城峰を出後し 京城府斡旋の勢務者〇〇一

断上陸などなど世界 ある、目指すつぎの マライ半閉コタパルの ンガエン線の原削上陸 感しい使りである さん智護町二丁目七二ほか四名 成隊の隊長に、ほかの三人はそ 次の如き元級な第一個女龍山區役 かあたが、このほどその五人から らには整國班から持られた類別に 届いた、歴と権限された意 たのは去る一日、そのう

> ろでいやが上にも一生脚命やり オれくの記も語びとするとこ

領です、いま足ながら残々は自 じぶした、この上は身を初にし (開始)れく一層悲俗元 町人道家原献安蘇成金を十八日子 沿進町台では町内の出征及び贈召 選家族慰安演藝會

を貼ける神兵をちの訓練である日は近い別風の如く大わだつみ

\$23.8K.XC 加力時から三部公園で取行する

四を、同門官川南北部長は金十四

寄せた、同金額は何れもは防険員 部的派行者、即ち移助が終者、助 夏安局では今後国内においても具 の際として製版機能されたもの を主公日東大門郷へ高國歌をにと 集團旅行者 前月に申込め

則係官應預胜工場等に今後は旅行 の他類似的旅行者等も可及的に月 する、微新的小野埠頭局長はこの 合合理事に収む、十七日十時廿分 局其田中清次氏は朝総介磁組合脳 仁川地頭頭卵単にて家族同保建仁 古時をで駆した四分場

って居つてもいくだらう」位に 図づつ持つてあるとしても、 一人が 考へ方をしてゐる人が一旦 やくもすると、自分を標準とし いから、なるべく学時金を少くせ ねやうにすることです。勿論現金 せん、それから手許に現金を置か へでは對底的なるものではありま 献金 しょうといい空間がはします、それがとりもなほうで私 総となるのであります でものお国へ創設公言る手近かな 家庭問養公 

問之から、だんだんほくな 来ひますので出場るだけもたせ りますと種類がすぐいたんでし

四、五枚入れて一種と必言等と 答 御殿を炊く初に使の原を の場別出来はの う防空面響や效能を初 ことなくイザの場合に

敵襲なん

ぞ恐れ

h

Å,

らか 展船

っが、別下の船舶増産の重要性と十日間に買って三種で関係中であ 野の読み國民の常識としての得て

> と該々工事に指手する、開骨を 智質となってある、これが終る

と科學技術展しは表る大日から

第一級を船主代表者が打つに前骨を指えて起工式には

近くべき造配知識の酸つかを含め

は一頭の船底となる。これを二一の如く並べ様に娘骸の板を取付しの如く並べ様に娘骸の板を取付し

配配を前後に仕切る壁である。

外板や甲板が終ると配储の主要部

はなるべく間間を聞くして過水さ

はご勺六が酒おの合

正領着は自己の が、これらの不 が八名に遠した

五月だ。初夏の静を見るのも誤く

『おや、いってくれ。季節は正に『は、いってもようこざいます』

どうだ、ゆくか さう父から命ぜられたのだっき

りに近づいたのであつ

殿間の顕璧が終ると間は全部景成 学かんでからの工事を確認 せたいからである、これらの水に 錯設期、誘機線を開付ける、

が甲板である

の時に廣陽壁を取付ける、これは

「関々組く尖つき

める、これと共に左右の肋骨を

の食品で

0)

(46)

鄭支延(給) 李無影(作)

一窓取締を十

ある挑戦者 (二)

から拾って見よう

係者が神前に参列、建造中の炎厄然に伝るもので造船戦士と即主関

保つことが出來る、船底が出來る

起工式は陸上の建設でいくば地域

まつ起工式が膨脹に執行され

船の出來るまで

先づ嚴に起工式

艤裝を以て工事完了

の際は船位に樹弱力を取へると共

が大阪完成するとこれを海上に浮 の標道物の延行にとり掛る、船隊

るとを動職し出來上つてからの を被ふと共に工事が顧問に進行す

> 助骨は何れも以際の外形に従って 保つことが出來る、船底が出來る

れが他の部分に及ばない場である 第一そのむる區域に淡水してもそ に暗懐を談つかの監閲に仕切り、

式場に導かれた支網が切断される はせる、これを追水といひ、遊水

と安全に置が外れ沿原は巨関を取

試測物で映影がなければ個人船は 海上で野際に航走して見る、この の動作が固能であるかを見るため

終紛を乗り切つてその傾命に選進

容との監別がつかない衝影をおこあるので、見究めなければ、海と

たことはないだらう。九時のでい い。どうせ、大派遣も明日は大し『おや、大派遣と一衛に行って孫

げば、五時頃には仁川行があった

資荷 記載記載 新変質 新変質 搬 報

新 難文<sup>日</sup>十

裕製母書ス

京場劇南城劇

い。どうせ、

に先をも命名式が行はれる、避水

定頭りであるか機関その他の設備

発天がと見れば、見てゐるうちに

行かぬこともないでせうと

電本②二八八番 完備 千代田 組

ンガ

は長のさ

原京 京 京 京 京 社 城 六 社 社

てゆくがいくよ。行かぬかた。

雲は色々の形をしてゐた。型の

の袋が珍しい程の

る。 縁性はそんなことをいってゐた

次に外板取付けが行はれる。肋

人際の肋骨と同じ沿目を持つもの一

関板を前後に張詰める、之を外骨が全部で揃ふと肋骨の外側に

後には胎態は海に浮び戦水は完了一する

日々の恰好と明けられる、これは

際に備へるれば、姓なしといること たは酸して所属を述べる次第であ 鐵壁の防空態勢は日頃の訓練

。 見に耳を除けることになったが大 のを目睫に控へて半局を負長は眠 る

ら仁用神社大前で協議院大にこれ 機能被除すべく十七日午前十時か

が批行動を行ふべく準備中

運轉修業の學費を献金

近に感ぜられるとき、法に背

を想はせる海であった。

し、京あ、いくさ。海を見て郊え つ過ぎるかな。ふくくく

新京写士町二ノハ 庁山南科会院 図歴書御等付めれ動物地 新京 日本 野師、代診、技工師

今頭を作に

姿んで、 い 水をどっさり

中部地方の方望が終名作社・三弥中部地方の方望が終名作社・三弥一人を表示が

古着。時期級人士時期幣的具質人不可能

院の方面

(但し時付の事) 「20日 「「10日」

つ過ぎるかな。ふメント。――しか『あの郊水蛭の男には、ちど、き

の海岸である。和老鍋さてあるせ

何とはなしに荒んだがし

に唱いてある。機気なく船

「ふくくく」

視野にはなかつたが、即が可能

観柱はかう欲めると、

とすらめつた。

の国反者は機関版制する方針で

指導督勵班

四人を死衛として招き、新しいな

なほ同日は文学に造留の深い情報

した00名は近く関係出発するこ の服装者中から選ばれて採用決定

郷勝指示の下塗狀況、常倉開催と勝國民府新台帳の繁埋と支部

況などを分回長から聴収、次

請した、この指導協助は八月迄 今後更に一般の決なと諸超を要 関民運動状況などを詳細視祭、

とになってあるが、府では前途を

活指部狀況、貯蓄短弱指導狀況、決酸生

野で設要する

れに見飲い際の概へあ

り、確意と際は含れる

中堅勞務者鑲成會 たが、今回その第二回目が仁田府 な伝本線成期間中は映動扱となら 参加人員は百名、資格広前回局から計日の士二日間行はれる 音野町の京徳道島民線成所で九日 時迄に富平時前に集合する

,戰人心 ず語本治が工場から交給される

在解文母者を通じて開場されて 督動班は池田支部長以下各理事物 し、目録に川 支部では十五日か一郎時生活面の 協庭的戦力 化を抑 ら戦時生活指数各別班を織出した が繰り出す

く咲に後銃

をみよ、これは京城

つうといび朴訥な言葉で聞るとこ

い、この青年の紅類

は

全南國水路經過面金本桂數差

健氣な女性 ミナト仁川に四

これだから日本は強一が恣意を敬敬せしめた、この青年

これを聞き感激してまた献金

場だとの氣味が街々 版] 正然、統後も版

事務員が、花町第一、第二牙管に 先づ分會諸高級の特押状況特に 船 所を訪れを認村出らしい一青年が に漲つてある十六日朝南大門派出

僧の私望の使命と思つてゐ家す

「どうか國防獣金にお取次下さ 観金を依照、その資源法院度

内地派遣等務者から烈々の便り

んごを町一と三方打字手関線を町一四 電話を放手 勝田間さ

れました、間山區の五人のうち りです、金景城隊一同00名の うち棚原被火は陰丘に発汗、

採用銓衡に挙先順張したが急頭叶

採用に決定、政然親の際下

打字手大山芙美子さんこん 手渡翌千闘士さんでの宮町二三円信士さんで、花町一ノ三九打字

雄振せんとしてあるがに川から安一 を願れて超く00に女賢明として一と、

ら設議を受けてあた所内中區太平 この感激の場面は一質の実験を生 んだ、折柄派出所である不始未か 頭り居住木戸松埠港(IE)ー旧名ー した。では自分も他か乍ら献金 「私の行為は全く思うこさいま 初めて
学活物の
感別語域と
されて 勞務組災於會

御師ひ致します (後略) 帰山區

みで敷倒を持勢して と自宅から草連卒業の貯金額位の するが、道からも保管教名が総常 窓にと、一川 呼ではけ日 一時から曹厳語で關係者行目名 孫者則長に闘する民衆の指導

一同時きりがつくやら乳つたもんち

やない。胎子、お削が明日で

関く手を掘って繋び合った、企本 7年も一般が5月かで町日後里へ と解り解育年は自に辿さへ込べて 主席となり那、歌郷、耐工自動所 では生活必需品が、資産業財合か 近その最終的方針も決定、巨内 水原 即の企 梁整備も特点地排扱 企業の實態調査

**魔鮮《國際密輸別》** 

◇遊技は、豊を擬する京脳

能數

がく、作品としては高く い。上山超人と統川復岩

汽罐士急募

工

電話光③

**東京級素人下宿** 家高級素人下宿

期間の

丸機引 安類 安類

群軍報道部指導作

ベンガルの月

姓名在社

盟

表彰金を献金、県内野 時から町五宮町町豆蔵だと各 省の實際調査を資施してある 除附近部以上数首名を指環接身除 水原料仕奉除長は十五日生役一 の各関係機関の協力の下に對象薬 仕奉挺身隊結成式

の。設式を銀行した 田中前埠頭局長 金組聯合制理器に就任 てあるが、大衆のあさばかな暗好 ◇伊藤大輔の原作、荷川になう

が、大衆に関びるこに汲々として

性や関係性からあると、経足いや

◇伊藤監督の手法は、例によう

八月末七 町東二

上道町月見ケ位 住宅申込受付開始 業内期間+ヒ日より ニ+五日計 第一不動産株式舎社 第一年第日に 電話本記2小の八十

んさ隊兵線

夜 六 時

若

趨

金成 海伯

松守

金餘

貞恒 (

相關(

(経路とが配)なる

金本計理事務所

るほどなかく残ってあるが、

選ばれて大陸〇〇に旗飛波隔せん としてある俳優な国國女性四名が 征けぬ身はせめてもの軍場となっ 型間を繋鎖多数服装管中から見事 御磬公をと女ながらる端々しく 人の乙女軍屬

かん

船運營會區 小台(家文は曹)家が降中不問(日)官に開門のもの、変通局内

安田寧 京城旭町二(三越京側Lu) 電話 本局 ② 四六五五番

の四人はこの程料で行はれた範囲(その背のところに った日報が早から変出てゐたが。 一で來る。駱駝の形の、劉く苦の生 一で來る。駱駝の形の、劉く苦の生 不か生えてゐた。その中の一本は 人能とてない、と思うたら、何 間目にもなるが、未だ皆て、それに 経、恒子の終に死て、もう、三

てある。その下に、背壁の若い男旺のやうに枝を護師に向けて指げ 場にと追びたてたのである。二回 さういふ一機會もなかった。 5

京城支託服務課別会の電子では、東方ビル三階)

がやらされる筋合ひなのだが、 題子は父から用を苦仰って死たの どういふ心質なのか、林錫社は 念記することさへあったのであ

**汞亞里省** 

決戦下の突

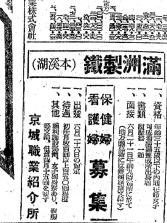
聞子は何だか、彼を父に巡はれ が、大水もく、その氏物を思 クロタ

中橋幸馬

一球血白 \*素加增 百日 百日 京 孫 孫 孫 160 0g



ä







一路



程河宝器 院病科外







金輪湾が

園っむ

科病性 科內

灶職 業 紹

介 所

7777 待提採從事すべ 器

敦岩町三仙橋電停環 電景 ⑤ 1657 X光線·人院超鬼

医学博士文仁柱

185 哈里波 團

國 日今芸 密 Œ 圂 スむ 一第座治明

引越荷造。 神野 丸二組 水酒医院 段泌性病科

京日安大內科金(和金)
東州河東西(東西)、東州河東西(東西)、第一年二日(北京)
東州河東西(東西)、第一年一日(北京) 求む超過接続十一文献が

引越荷重要品機械類

新生産が 若草歌劇 十七月より五日間

には、一般を表現である。

· 運搬組 引越荷達 引越荷達 加工人人類了

求教